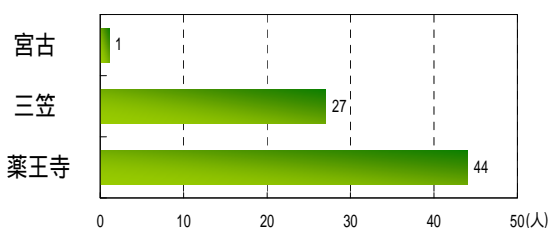


国保中央病院線の利用促進について

事業目的：国保中央病院線は利用者が減少の一途をたどっている。利用のパターンは、午前は駅から病院、午後は病院から駅への利用であり、朝夕は病院の職員が主に利用している。国保中央病院線の利用促進策として、駅と国保中央病院の間に位置する集落住民の利用が挙げられる。住民の交通行動を考えた場合、朝夕を除いた時間帯に駅へのアクセスが多くなっており利用が想定される。これらの踏まえて利便性向上策の検討を行う。

【住まい】



【年齢】

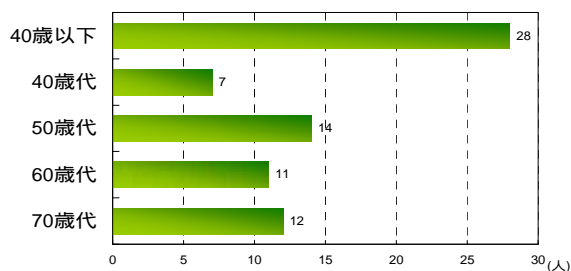
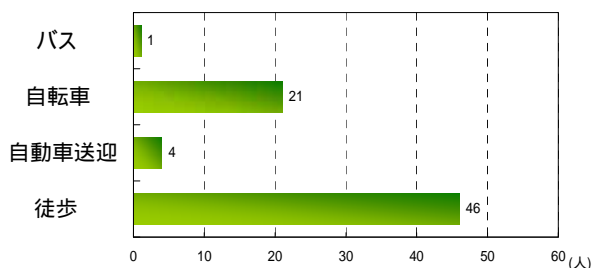


図 国保中央病院線沿線住民の田原本駅アクセス（通勤通学以外）状況（以下同様）

【交通手段】



田原本駅アクセスにおける交通手段（通勤通学以外）

【年齢 × 交通手段】

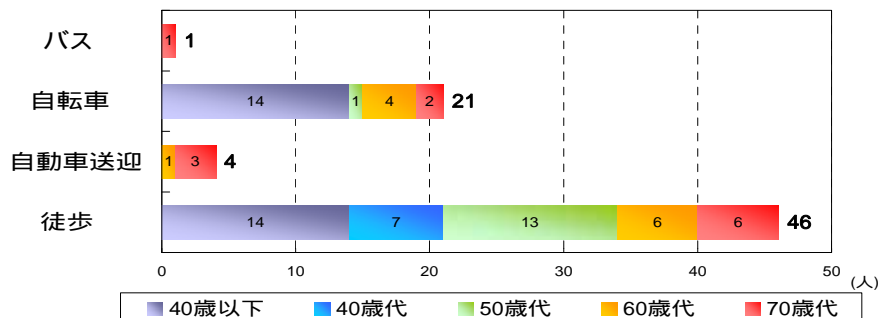


図 田原本駅アクセスにおける年齢別交通手段

【目的】

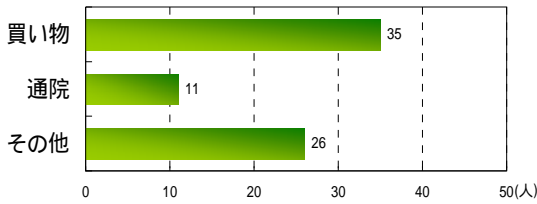


図 田原本駅アクセスの移動目的

【年齢×目的】

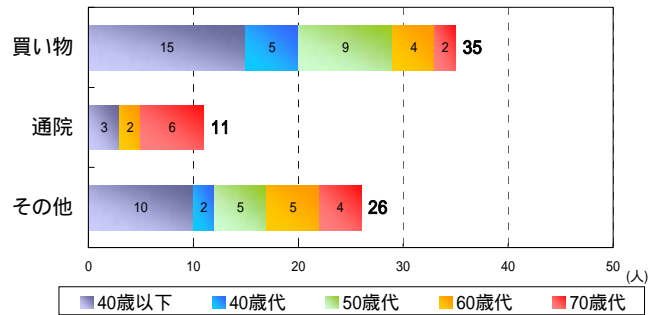


図 田原本駅アクセスの年齢別移動目的

【時間帯】

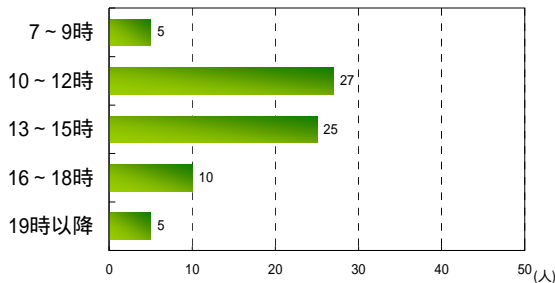


図 田原本駅アクセスの時間

【年齢×時間帯】

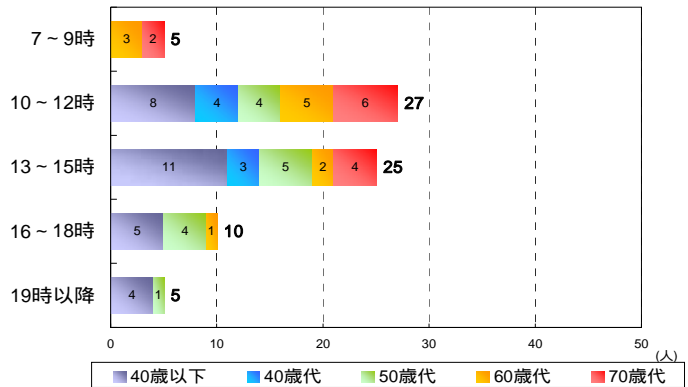


図 田原本駅アクセスの年齢別時間帯

1. ターゲット

- ・ 地元住民（西竹田、十六面、平野、薬王寺、三笠等の国保中央病院沿線）の利便性を図る。

2. 事業概要

2-1 路線の変更

- ・ 従来の同じ路線を往復運行するだけでなく、田原本バスセンターを中心とした新たな路線を設定し、周回運行（別紙1）に変更する。

2-2 バス停の新設

- ・ 周回路線上に位置する集落に、地元との協議のうえバス停（別紙1）を設置する。

2-3 運行方法

- ・ 基本的に、現在主に利用されている便を維持しながら、田原本バスセンター、薬王寺北、国保中央病院、西竹田、平野、薬王寺南、三笠、田原本バスセンターの順で運行する。
- ・ 周回運行に伴うダイヤの見直しを検討。（近鉄線との連絡等）

2-4 運賃

- ・現在の料金を超えないように、距離を考慮したわかりやすい運賃設定を行う。

2-5 試行期間（予定）

- ・平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで
試行期間終了後結果を検証し、次年度（試行最終年度）に向けての方策を検討する。

【参考】 国保中央路線沿線にお住まいの方の田原本駅へのアクセスに関する問題点

Q2_通勤・通学先までの移動についての問題点	自治会	年齢
田原本駅まで徒歩20分。朝は良いが、帰りが夕食の支度もあり薬王寺の近くにバスが通って欲しい。	薬王寺	60 歳代
電車になると駅までが遠い	薬王寺	30 歳代
西田原本駅まで遠い	保津	40 歳代

Q4 お出かけ先までの移動についての問題点	自治会	年齢
年をとったら遠いので、どうしようか~と思う。	薬王寺	60 歳代
足が悪いためバスがあったら大変うれしい	薬王寺	70 歳代
自分が出掛ける時に駅までのバスがあれば出掛けやすい	薬王寺	60 歳代
晴れの日には自転車で外出、雨の日にはタクシーを利用のため、町内循環バスがあれば助かります。	三笠	70 歳代
通勤の時の田原本駅前の車での乗降に苦労しています。	三笠	70 歳代
定期的に循環して、好きな場所での乗降ができれば良い	三笠	50 歳代
遠い	三笠	30 歳代
車がないので行きたい日に行けない	三笠	30 歳代
歩いて行くには目的地まで距離がある	保津	20 歳代
歩いては行けない為	宮古	80 歳代
車でしか行けない	宮古	20 歳代

「田原本町の交通まちづくりに関するアンケート調査」より